

XX. スペイン

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：4,666 万人（2019 年 IMF 推計） ○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たり GDP：29,961 ドル（2019 年 IMF 推計） ・ 実質 GDP 成長率：2.2%（2019 年 IMF 推計） ・ 1 ドル=0.89 ユーロ/1 ユーロ=121.77 円(2019/12/31) 	
2. 金融制度の概要	<p><金融制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○銀行等の業態分類（機関数、総資産シェア、根拠法）（2018 年 12 月末） <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の商業銀行（43、61%、Law 10/2014 of 26 June 2014 on the regulation, supervision and solvency of credit institutions） ・ EU 内の外国銀行（79、N/A、同上） ・ EU 外の外国銀行（3、0.1%、同上） ・ 貯蓄銀行（11、33%、Law 26/2013 of 27 December, on savings banks and banking foundations） ・ 信用協同組合（61、6%、Law 13/1989 of 26 May 1989, Credit Cooperatives） ○監督官庁：スペイン銀行 ○預金保険制度：スペイン国内の銀行および本国にスペインと同等の制度のない国の外国銀行は預金保証基金への加盟が義務付けられている。預金保証額は 2008 年に 5 万ユーロから 10 万ユーロに引き上げられた。 ○金融税制 <p>預金による利子所得に対しては 19～23%の分離課税が適用される。配当所得、キャピタルゲインは 19～45%の総合所得課税が適用される。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○商業銀行のうち、サンタンデール銀行とビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行（BBVA）の規模が大きく、二大商業銀行として知られている。

<p>3. 郵便貯金の概要</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営郵便電信株式会社（コレオス）がドイツ銀行と協定を結び、1999年から金融サービスを提供、2006年4月からはバンコレオス（西語：Bancorreos）というブランド名で金融サービスを提供していた。ドイツ銀行側の事業戦略変更により、2016年3月にドイツ銀行とコレオスの協定は終了。 ・2018年にコレオスは、ネット専門の商業銀行と提携を結び、この銀行の顧客に対し、預金預け入れや現金引出しサービスを提供（コレオス・キャッシュ）。 <p>○バンコレオスの拠点（現在はサービス提供終了）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレオスの店舗やATM、国内外のドイツ銀行の支店・ATMを通してサービスを利用できた。 <p>○取扱業務</p> <p>提携先銀行の顧客に対するサービスをコレオスの窓口で提供。送金サービスはコレオスが担当。</p>	<p>○バンコレオスによる利益はコレオスとドイツ銀行で50%ずつ折半されていた。</p> <p>○送金サービスはコレオスが独自で提供するサービスと、ウェスタン・ユニオンとの協定によるサービスの2種類がある。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴</p>	<p>○個人金融資産（2018年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総額：2兆1288億ユーロ ・現金・預金：41.4% ・投資信託：14.3% ・出資金：20.6% <p>○リテール金融機関は大きな役割を果たしている。銀行セクターでの預金シェアは貯蓄銀行が41%、信用協同組合は9%である（2018年12月末）。</p>	

5・最近の金融動向と今後の動向	<ul style="list-style-type: none">○貯蓄銀行は 2000 年代後半の経営悪化後、政府主導で再編が進み、2018 年末には 11 行まで減少。○銀行は近年、店舗を削減する一方、移動式店舗等の代替チャネルを整備。モバイル・バンキングにも積極的。○スペインでは現金決済がいぜん主流だが、デビットカードを中心にカード決済へのシフトが徐々に進展。○大手行は中南米でマイクロファイナンスを提供。○大手行では、海外のデジタル関連企業との提携や出資を積極的に行う動きが見られる。○フィンテック分野で規制のサンドボックスを導入予定。○コレオスが今後、銀行との提携を拡大し、スペインにおいて物理的な金融インフラの中核となる可能性も。	
-----------------	---	--